

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 2019年11月7日

【四半期会計期間】 第71期第2四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

【会社名】 株式会社ファインシンター

【英訳名】 FINE SINTER CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役 社長執行役員 井上 洋一

【本店の所在の場所】 愛知県春日井市明知町西之洞1189番地11

【電話番号】 0568 - 88 - 4355 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 小林 努

【最寄りの連絡場所】 愛知県春日井市明知町西之洞1189番地11

【電話番号】 0568 - 88 - 4355 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 小林 努

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所  
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第70期 第2四半期 連結累計期間	第71期 第2四半期 連結累計期間	第70期
会計期間		自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高	(千円)	19,590,845	20,562,286	40,501,277
経常利益	(千円)	529,581	275,961	1,540,974
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	165,162	26,557	816,786
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	457,892	196,661	896,605
純資産	(千円)	18,739,756	18,518,070	19,002,372
総資産	(千円)	45,832,676	46,591,129	46,839,355
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	37.53	6.03	185.58
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	36.1	35.3	35.6
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	2,009,133	2,622,216	3,965,839
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	2,073,967	1,796,355	4,141,309
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	997,110	627,181	443,860
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	3,274,181	3,896,563	3,714,223

回次		第70期 第2四半期 連結会計期間	第71期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	32.02	6.00

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
2 売上高には、消費税等は含まれておりません。  
3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

##### (経営成績の状況)

当第2四半期連結累計期間の売上高は20,562百万円と前年同四半期に比べ971百万円(5.0%)の増収、営業利益は436百万円と前年同四半期と比べ166百万円(27.6%)の減益、経常利益は為替差損の増加等で275百万円と前年同四半期と比べ253百万円(47.9%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は26百万円と前年同四半期と比べ138百万円(83.9%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

##### 粉末冶金製品事業

自動車用部品につきましては、前年度に立上げた新規品による増収効果があったものの、中国子会社での市場減速に伴う売上減少、米国子会社での要員確保難や高設備負荷に伴う残業・休日出勤によるロス、国内子会社での品質確保のための追加費用等が利益を圧迫しました。一方、鉄道車両用部品につきましては、2016年度新規開発の新幹線用ブレーキライニングの搭載車両増加継続により売上増となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は19,576百万円と前年同四半期と比べ917百万円(4.9%)の増収となり、セグメント利益につきましては、1,255百万円と前年同四半期と比べ120百万円(8.7%)の減益となりました。

##### 油圧機器製品事業

北米向けの手術台及びデンタルチェア用製品は得意先の一時的な在庫調整により減少となりましたが、アジア地域向けのデンタルチェア用製品の売上は拡販活動の成果で大幅な増加となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は980百万円と前年同四半期と比べ54百万円(5.9%)の増収となり、セグメント利益につきましては、279百万円と前年同四半期と比べ29百万円(11.9%)の増益となりました。

( 財政状態の状況 )

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金の増加（前連結会計年度末比189百万円増）、受取手形及び売掛金の減少（前連結会計年度末比777百万円減）等により、17,963百万円（前連結会計年度末比573百万円減）となりました。固定資産につきましては、有形固定資産の増加（前連結会計年度末比250百万円増）等により、28,627百万円（前連結会計年度末比324百万円増）となりました。

以上により、資産合計は46,591百万円（前連結会計年度末比248百万円減）となりました。

流動負債につきましては、短期借入金の増加（前連結会計年度末比434百万円増）、営業外電子記録債務の減少（前連結会計年度末比99百万円減）等により、18,370百万円（前連結会計年度末比336百万円増）となりました。固定負債につきましては長期借入金の減少（前連結会計年度末比840百万円減）の一方、当連結会計年度期首からの海外子会社のIFRS16号適用等によるリース債務の増加（前連結会計年度末比622百万円増）等によって、9,702百万円（前連結会計年度末比100百万円減）となりました。

この結果、負債合計は28,073百万円（前連結会計年度末比236百万円増）となりました。

純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が103百万円減少、その他の包括利益累計額が152百万円減少したことにより、非支配株主持分を除くと16,441百万円（自己資本比率35.3%）となりました。

( 2 ) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は3,896百万円と前年同四半期と比べて622百万円（19.0%）の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少等により、2,622百万円と前年同四半期と比べ613百万円（30.5%）の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出の減少等により、1,796百万円と前年同四半期に比べ277百万円（13.4%）の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出の減少等により、627百万円と前年同四半期と比べ369百万円（37.1%）の増加となりました。

( 3 ) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は167,256千円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	10,000,000
計	10,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年11月7日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	4,420,000	4,420,000	東京証券取引所 名古屋証券取引所 各市場第二部	単元株式数は100株であります。
計	4,420,000	4,420,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年9月30日		4,420,000		2,203,000		1,722,945

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
トヨタ自動車株式会社	愛知県豊田市トヨタ町1番地	920	20.90
株式会社デンソー	愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地	220	5.01
K Y B 株式会社	東京都港区浜松町2丁目4番1号	220	5.01
ファインシンター従業員持株会	愛知県春日井市明知町西之洞1189番地11号	199	4.52
アイシン精機株式会社	愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地	135	3.08
住友電気工業株式会社	大阪府大阪市中央区北浜4丁目5番33号	129	2.93
株式会社清里中央オートキャンプ場	愛知県名古屋市北区若葉通1丁目38番地	101	2.30
株式会社三菱UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	101	2.29
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号	100	2.27
J F E スチール株式会社	東京都千代田区内幸町2丁目2番3号	94	2.14
計		2,222	50.49

(注) 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。  
三井住友信託銀行株式会社100千株

## (6) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 18,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,390,700	43,907	
単元未満株式	普通株式 10,400		
発行済株式総数	4,420,000		
総株主の議決権		43,907	

(注) 単元未満株式には当社所有の自己株式75株が含まれております。

## 【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ファインシンター	愛知県春日井市明知町 西之洞1189番地11	18,900		18,900	0.42
計		18,900		18,900	0.42

(注) 株主名簿上は、当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が200株(議決権2個)あります。  
なお、当該株式は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式に含めております。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,942,520	4,131,865
受取手形及び売掛金	8,018,414	7,240,895
電子記録債権	1,232,969	1,200,954
商品及び製品	909,344	1,019,135
仕掛品	1,629,887	1,550,191
原材料及び貯蔵品	2,440,091	2,483,847
その他	363,033	336,279
流動資産合計	18,536,261	17,963,170
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,550,330	13,490,540
減価償却累計額	8,192,575	8,259,352
建物及び構築物(純額)	5,357,755	5,231,187
機械装置及び運搬具	46,725,254	46,942,272
減価償却累計額	34,221,617	34,748,414
機械装置及び運搬具(純額)	12,503,636	12,193,858
工具、器具及び備品	5,633,601	5,980,276
減価償却累計額	4,501,174	4,891,126
工具、器具及び備品(純額)	1,132,427	1,089,149
土地	3,558,768	3,563,718
リース資産	493,363	1,217,768
減価償却累計額	355,958	414,912
リース資産(純額)	137,404	802,855
建設仮勘定	1,818,089	1,877,548
有形固定資産合計	24,508,082	24,758,318
無形固定資産		
電話加入権	11,407	11,407
リース資産	75,181	59,385
その他	247,960	291,560
無形固定資産合計	334,550	362,354
投資その他の資産		
投資有価証券	2,110,117	2,158,193
長期貸付金	7,026	6,997
繰延税金資産	1,262,803	1,267,181
その他	84,945	79,324
貸倒引当金	4,432	4,410
投資その他の資産合計	3,460,460	3,507,286
固定資産合計	28,303,093	28,627,959
資産合計	46,839,355	46,591,129

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,268,403	3,203,820
電子記録債務	2,897,899	2,828,990
短期借入金	6,664,810	7,099,704
1年内返済予定の長期借入金	1,597,603	1,580,227
リース債務	85,420	134,165
未払法人税等	186,291	199,028
未払消費税等	137,487	126,099
未払費用	658,474	690,355
賞与引当金	923,852	1,010,048
役員賞与引当金	41,973	25,946
設備関係支払手形	156,750	151,904
営業外電子記録債務	633,835	534,670
その他	780,945	785,446
流動負債合計	18,033,748	18,370,408
固定負債		
長期借入金	5,114,250	4,273,743
リース債務	154,078	776,510
繰延税金負債	16,365	16,071
役員退職慰労引当金	98,863	121,612
退職給付に係る負債	4,079,840	4,174,269
資産除去債務	336,128	339,061
その他	3,708	1,381
固定負債合計	9,803,234	9,702,650
負債合計	27,836,983	28,073,059
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,203,000	2,203,000
資本剰余金	1,721,609	1,721,609
利益剰余金	11,814,260	11,710,858
自己株式	30,584	30,677
株主資本合計	15,708,286	15,604,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	870,809	903,566
為替換算調整勘定	299,792	85,999
退職給付に係る調整累計額	181,568	153,242
その他の包括利益累計額合計	989,033	836,323
非支配株主持分	2,305,052	2,076,955
純資産合計	19,002,372	18,518,070
負債純資産合計	46,839,355	46,591,129

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	19,590,845	20,562,286
売上原価	16,893,100	17,978,987
売上総利益	2,697,745	2,583,298
販売費及び一般管理費	1 2,094,792	1 2,146,898
営業利益	602,952	436,400
営業外収益		
受取利息	4,977	9,063
受取配当金	38,053	32,176
作業くず売却収入	18,769	15,651
雑収入	48,966	29,522
営業外収益合計	110,768	86,414
営業外費用		
支払利息	136,995	155,920
固定資産除却損	25,727	44,273
為替差損	7,409	39,262
雑支出	14,007	7,396
営業外費用合計	184,138	246,853
経常利益	529,581	275,961
税金等調整前四半期純利益	529,581	275,961
法人税等	203,612	180,526
四半期純利益	325,969	95,435
非支配株主に帰属する四半期純利益	160,806	68,877
親会社株主に帰属する四半期純利益	165,162	26,557

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	325,969	95,435
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41,663	32,757
為替換算調整勘定	40,061	353,177
退職給付に係る調整額	50,198	28,323
その他の包括利益合計	131,923	292,096
四半期包括利益	457,892	196,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	325,659	125,786
非支配株主に係る四半期包括利益	132,233	70,874

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	529,581	275,961
減価償却費	1,554,361	1,831,548
固定資産売却損益(は益)	1	865
固定資産除却損	25,727	44,273
賞与引当金の増減額(は減少)	64,710	84,842
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	66,061	133,194
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	931	22,749
受取利息及び受取配当金	43,031	41,240
支払利息	136,995	155,920
売上債権の増減額(は増加)	348,615	724,548
たな卸資産の増減額(は増加)	330,656	130,704
その他の流動資産の増減額(は増加)	2,257	17,291
仕入債務の増減額(は減少)	115,496	98,802
その他	51,928	108,589
小計	2,417,258	2,910,128
利息及び配当金の受取額	42,655	40,564
利息の支払額	137,219	155,547
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	313,561	172,929
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,009,133	2,622,216
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	6,004	7,003
投資有価証券の取得による支出	12,537	1,006
有形及び無形固定資産の取得による支出	2,061,697	1,792,751
有形固定資産の売却による収入	1,933	3,913
貸付けによる支出	-	2,910
貸付金の回収による収入	4,338	3,402
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,073,967	1,796,355
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	418,266	512,300
長期借入れによる収入	2,300,000	-
長期借入金の返済による支出	3,322,207	793,170
自己株式の取得による支出	566	92
配当金の支払額	131,654	131,809
非支配株主への配当金の支払額	161,552	157,222
リース債務の返済による支出	99,395	57,187
財務活動によるキャッシュ・フロー	997,110	627,181
現金及び現金同等物に係る換算差額	33,972	16,338
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,027,972	182,339
現金及び現金同等物の期首残高	4,302,153	3,714,223
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 3,274,181	1 3,896,563

【注記事項】

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っております。

この結果、当第2四半期連結貸借対照表において有形固定資産が677百万円増加し、流動負債が46百万円及び固定負債が625百万円増加しております。また、当第2四半期連結損益計算書において経常利益及び税金等調整前四半期純利益が18百万円減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
給料	496,291千円	511,201千円
賞与	147,393千円	145,375千円
退職給付費用	44,700千円	46,879千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金	3,496,474千円	4,131,865千円
預入期間が3か月を超える 定期預金	222,293千円	235,301千円
現金及び現金同等物	3,274,181千円	3,896,563千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月21日 定時株主総会	普通株式	132,043	30.00	2018年3月31日	2018年6月22日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年10月30日 取締役会	普通株式	176,048	40.00	2018年9月30日	2018年12月4日	利益剰余金

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月21日 定時株主総会	普通株式	132,031	30.00	2019年3月31日	2019年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年10月30日 取締役会	普通株式	132,030	30.00	2019年9月30日	2019年12月3日	利益剰余金

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	粉末冶金 製品事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,659,269	925,980	19,585,250	5,595	19,590,845	-	19,590,845
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	18,659,269	925,980	19,585,250	5,595	19,590,845	-	19,590,845
セグメント利益	1,375,293	249,821	1,625,115	2,844	1,627,959	1,025,007	602,952

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電および売電に関する事業です。  
2 セグメント利益の調整額 1,025,007千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	粉末冶金 製品事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,576,690	980,340	20,557,031	5,255	20,562,286	-	20,562,286
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	19,576,690	980,340	20,557,031	5,255	20,562,286	-	20,562,286
セグメント利益	1,255,120	279,555	1,534,675	2,828	1,537,503	1,101,103	436,400

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電および売電に関する事業です。  
2 セグメント利益の調整額 1,101,103千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益	37.53円	6.03円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	165,162	26,557
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	165,162	26,557
普通株式の期中平均株式数(株)	4,401,324	4,401,031

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【その他】

第71期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）中間配当については、2019年10月30日開催の取締役会において、2019年9月30日の株主名簿に記載された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

中間配当金の総額	132,030千円
1株当たりの中間配当金	30円00銭
効力発生日及び支払開始日	2019年12月3日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月7日

株式会社 ファインシンター  
取締役会 御中

PwC あらた有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 氏原 亜由美 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 杉本 晃司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ファインシンターの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ファインシンター及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。